

## 第9回教育懇談会討議からの課題の抜粋

- 1．ある小学校の「読み・書き・計算」の指導に大変感心した。是非、そういった研究も教育研究所等でもっと行うこと。
- 2．学力調査を国が動いてからやるというのでは、何のために懇談会を設けているかわからない。奈良県で目指すところに合わせた学力調査を実施すること。  
また、何が学力調査の実施を困難にしているのかを明確にし、県としての今後の方向を明らかにすること。
- 3．一度、奈良県の教育委員会としても、「学力とは何ぞや」、例えば、小学校低学年の学力はこういうものだということをきっちりと考えること。
- 4．山極氏自らが「総合学習を先行させるのではなく各教科の指導をどうするかを考えなければ」と力説されている。基礎基本をどのように定着させ、学力をつけるかを職場全体で取り組むこと。
- 5．1、2番に非常に多かった「思いやりのある人」と「責任感のある人」を育てるにはどうすればよいかを検討すること。  
-それぞれを人間像の両輪として位置 付けた人格教育の方法論-
- 6．教育委員会はもっと強い立場で、教職員のモラル低下や指導力不足教員への対応をすること。
- 7．若い先生の採用をすること。
- 8．土曜日、日曜日については、家庭へ返す。これは教育委員会等の責任において、生涯学習の視点から行事をやっていくこと。